

芸術学部
芸術学科

30 生 (2024 年 4 月入学)	取得可能免許	中学校教諭 一種	美 術
		高等学校教諭 一種	美 術

①第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
			授業科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
					前 後	前 後	前 後	前 後	
日本国憲法	2	◎	日本国憲法	2	2 (2)				卒業要件の必修科目
体 育	2	◎	保健体育概論	2	(2) 2				
		◎	保健体育実技Ⅰ	1	2				
		◎	保健体育実技Ⅱ	1	2				
外国語コミュニケーション	2	◎	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
情報機器の操作	2	◎	情報リテラシー	2	2				

②教科及び教科の指導法に関する科目

※免許法施行規則に定める科目区分ごとの内容を包括する科目

免許法施行規則に定める科目区分等					最低修得単位数 中学 高校		教免 ◎必修 中学 高校		本学における開講科目			毎週授業時間数				備 考			
									授業科目		包括科目	単位数	1 年次		2 年次			3 年次	
科目区分		各科目に含まれることが必要な事項					前 後						前 後		前 後		前 後		
第 二 欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む。)	1	1	◎	◎	絵画基礎Ⅰ		2	2						卒業要件の必修科目		
						◎	◎	絵画基礎Ⅱ		2	2								
						◎	◎	絵画基礎Ⅲ	※	2		2							
			彫 刻	1	1	◎	◎	彫刻基礎	※	2	2								
								アート実習Ⅰ		2			4						
						◎	◎	コンピュータ演習		2	2								
			デザイン (映像メディア表現を含む。)	1	1	◎	◎	デザイン基礎Ⅰ		2	2								
						◎	◎	デザイン基礎Ⅱ		2	2								
						◎	◎	デザイン基礎Ⅲ	※	2		2							
						◎	/	工芸基礎	※	2	2								
			工 芸	1	/		/	アート実習Ⅱ	※	2				4					
						◎	◎	美学・芸術学概論	※	2	2								
						◎	◎	西洋美術史		2	2								
						◎	◎	日本美術史		2	2								
			美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	1	1			芸術文化論		2		2							
						◎	◎	東洋美術史		2	2								
								日本近代美術史		2	2								
							デザイン史		2	2									
							メディア・アート論		2	2									
							工芸史		2	2									
		◎				◎	教科内容構成学(美術)		2				2						
		各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				8	4	◎	◎	美術科教育法Ⅰ		2		2				必修以外の美術科教育法についても履修する事が望ましい。	
			◎	◎	美術科教育法Ⅱ				2		2								
			◎		美術科教育法Ⅲ				2			2							
			◎		美術科教育法Ⅳ				2				2						
		合 計				28	24												

③教育の基礎的理解に関する科目等

教職課程

免許法施行規則に定める科目区分等			最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考					
							1 年次	2 年次	3 年次	4 年次						
					科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	中学	高校	中学	高校		授業科目	単位数	前	後	前
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	◎	◎	教育学原論	2	2							
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			◎	◎	教職論	2			2					
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			◎	◎	教育行政学	2			2					
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			◎	◎	教育心理学	2	2							
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			◎	◎	特別支援教育	1				1				
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			◎	◎	教育課程論	2			2					
第四欄	道徳総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	◎	◎	道徳の理論と指導法	2				2				情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む
		総合的な学習の時間の指導法			◎	◎	総合的な学習の時間の指導法	2				2				
		特別活動の指導法			◎	◎	特別活動の指導法	2		2						
		教育の方法及び技術			◎	◎	教育の方法と技術(情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む)	2	(2)	2						
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			—	—	(教育の方法と技術)	—							進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
		生徒指導の理論及び方法			◎	◎	生徒・進路指導論	2		2						
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			◎	◎	教育相談の理論と方法	2		2						
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			—	—	(生徒・進路指導論)	—								
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	◎	◎	教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1				2			免許状の種類によらず、Ⅰ～Ⅲすべてを修得することが望ましい。	
		◎			◎	教育実習Ⅱ(現場実習A)	3				6	(6)				
		◎				教育実習Ⅲ(現場実習B)	1				2	(2)				
		学校体験活動	—	—	—	—										
		教職実践演習	2	2	◎	◎	教職実践演習(中・高)	2					2			
合 計			27	23												

④大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
				授業科目	単位数	前 後	前 後	前 後	前 後	
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	◎ 介護等体験の基礎	2		2	(2)		
				生涯学習概論	2			2		
				道徳の理論と指導法	2			2		

注意事項：P.35 の「5. 基礎資格及び履修」に注意して単位を修得すること。

配当年次、開講期については変更する場合があるので、大学ポータルで必ず確認すること。

生命科学部
生命科学科

30 生 (2024 年 4 月入学)	取得可能免許	中学校教諭 一種	理 科
		高等学校教諭 一種	理 科

①第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
			授業科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
					前 後	前 後	前 後	前 後	
日本国憲法	2	◎	日本国憲法	2	2 (2)				
体 育	2	◎	保健体育概論	2	(2) 2				
		◎	保健体育実技Ⅰ	1	2				
		◎	保健体育実技Ⅱ	1	2				
外国語コミュニケーション	2	◎	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
情報機器の操作	2	◎	情報リテラシー	2	2				卒業要件の必修科目

②教科及び教科の指導法に関する科目

※免許法施行規則に定める科目区分ごとの内容を包括する科目

免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目			授業時間数				備	考		
									1 年次	2 年次	3 年次	4 年次				
科目区分		各科目に含める ことが必要な事項		中学	高校	授業科目	包括 科目	単位数	前	後	前	後			前	後
				前	後				前	後	前	後	前	後		
第 二 欄	教科 に 関 する 専 門 的 事 項 に 関 する 科 目	物理 学	化 学	1	1	◎◎	基礎物理学Ⅰ	※	2	30						
						◎◎	基礎物理学Ⅱ	※	2	30						
						◎◎	基礎化学Ⅰ	※	2	30						
						◎◎	基礎化学Ⅱ	※	2	30						
							有機化学		2		30					
							生化学		2	30						
							天然物化学		2		30					
							応用天然物化学		2		30					
							環境化学		2			30				
		生 物 学	1	1	◎◎	基礎生物学Ⅰ	※	2	30							
					◎◎	基礎生物学Ⅱ	※	2	30							
						基礎分子生物学		2		30						
						動物分類学		2		30						
						水族育成学		2			30					
						動物生態学		2		30						
						植物生理学		2		30						
						生物の構造と機能		2		30						
		地 学	1	1	◎◎	基礎地学Ⅰ	※	2	30							
					◎◎	基礎地学Ⅱ	※	2	30							
		物理 学 実 験・ 化学 実 験・ 生物学 実 験・ 地学 実 験	1	1	◎◎	基礎物理学実験	※	2	60							
					◎◎	基礎化学実験	※	2		60						
						生命科学実験		3			90					
					◎◎	基礎生物学実験	※	2		60						
					◎◎	基礎地学実験	※	2		60						
		教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目				0	0	◎◎	教科内容構成学(理科)		2			30		
		各教科の指導法 (情報機器及び教材の活 用を含む。)				8	4	◎◎	理科教育法Ⅰ		2		30			必修以外の理科教育 法についても履修す る事が望ましい。
								◎◎	理科教育法Ⅱ		2		30			
◎								理科教育法Ⅲ		2			30			
◎	理科教育法Ⅳ								2			30				
合 計				28	24											

☆教科に関する専門的事項の必修科目以外から 6 単位を選択必修科目とする。

③教育の基礎的理解に関する科目等

教職課程

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考			
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次				
				科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	中学	高校	中学	高校		授業科目	単位数	前 後
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	◎	◎	教育学原論	2	2				
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			◎	◎	教職論	2		2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			◎	◎	教育行政学	2		2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			◎	◎	教育心理学	2	2				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			◎	◎	特別支援教育	1			1		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			◎	◎	教育課程論	2		2			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導・教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	◎	／	道徳の理論と指導法	2			2		
		総合的な学習の時間の指導法			◎	◎	総合的な学習の時間の指導法	2			2		
		特別活動の指導法			◎	◎	特別活動の指導法	2		2			
		教育の方法及び技術			◎	◎	教育の方法と技術 (情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む)	2	(2)	2			
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			—	—	(教育の方法と技術)	—					
		生徒指導の理論及び方法			◎	◎	生徒・進路指導論	2		2			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			◎	◎	教育相談の理論と方法	2	2				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			—	—	(生徒・進路指導論)	—					
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	◎	◎	教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1			2		
					◎	◎	教育実習Ⅱ(現場実習A)	3			6	(6)	
					◎		教育実習Ⅲ(現場実習B)	1			2	(2)	
		学校体験活動			—	—	—	—					
		教職実践演習	2	2	◎	◎	教職実践演習(中・高)	2				2	
合 計		27	23										

④大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
				授業科目	単位数	前 後	前 後	前 後	前 後	
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	◎ 介護等体験の基礎	2		2	(2)		
				生涯学習概論	2			2		
				道徳の理論と指導法	2			2		

注意事項：P.35 の「5. 基礎資格及び履修」に注意して単位を修得すること。

配当年次、開講期については変更する場合があるので、大学ポータルで必ず確認すること。

生命科学部
健康科学科

30 生 (2024 年 4 月入学)	取得可能免許	中学校教諭 一種	保 健
------------------------	--------	----------	-----

①第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
			授業科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
					前 後	前 後	前 後	前 後	
日本国憲法	2	◎	日本国憲法	2	2 (2)				卒業要件の必修科目
体 育	2	◎	保健体育概論	2	(2) 2				
		◎	保健体育実技Ⅰ	1	2				
		◎	保健体育実技Ⅱ	1	2				
外国語コミュニケーション	2	◎	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
情報機器の操作	2	◎	情報リテラシー	2	2				

②教科及び教科の指導法に関する科目

※免許法施行規則に定める科目区分ごとの内容を含む科目

免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目			授業時間数				備 考		
科目区分		各科目に含める ことが必要な事項	中学			中学	授業科目	包括 科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次		4 年次	
										前 後	前 後	前 後		前 後	
第 二 欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	生理学・栄養学	1	◎	生理学	※	2	30						
					◎	栄養学概論	※	2		30					
						食品栄養学		2	30						
					◎	運動生理学		2		30					
						スポーツ栄養学		2		30					
			衛生学・公衆衛生学	1		健康管理概論		2	30						
					◎	衛生学・公衆衛生学	※	2			30				
						食品衛生学		2		30					
			学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1		保健医療総論		2	30						
						環境保健科学		2		30					
					◎	学校保健	※	2		30					
						精神医学		2		60					
						メンタルヘルス		2	30						
					◎	スポーツ医学Ⅰ		2		30					
						救急医学概論Ⅰ		2	60						
						救急医学概論Ⅱ		2	60						
			◎	一般救急救命	※	2		30							
			0		—										
				各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	8	◎	保健科教育法Ⅰ		2		30				
						◎	保健科教育法Ⅱ		2		30				
						◎	保健科教育法Ⅲ		2			30			
			◎			保健科教育法Ⅳ		2			30				
合 計			28												

☆教科に関する専門的事項の必修科目以外から 6 単位を選択必修科目とする。

③教育の基礎的理解に関する科目等

教職課程

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項			授業科目	単位数	1 年次 前 後	2 年次 前 後	3 年次 前 後	4 年次 前 後	
第三 欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	◎	教育学原論	2	2				
			◎	教職論	2		2			
			◎	教育行政学	2		2			
			◎	教育心理学	2	2				
			◎	特別支援教育	1			1		
			◎	教育課程論	2		2			
第四 欄	道徳総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	◎	道徳の理論と指導法	2			2		情報通信技術を活用した 教育の理論と方法を含む
			◎	総合的な学習の時間の指導法	2			2		
			◎	特別活動の指導法	2		2			
			◎	教育の方法と技術 (情報通信技術を活用した教育 の理論と方法を含む)	2	(2) 2				
			—	(教育の方法と技術)	—					進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
			◎	生徒・進路指導論	2		2			
			◎	教育相談の理論と方法	2		2			
			—	(生徒・進路指導論)	—					
第五 欄	教育実践に関する科目	5	◎	教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1			2		免許状の種類によらず、 Ⅰ～Ⅲすべてを修得す ることが望ましい。
			◎	教育実習Ⅱ(現場実習A)	3			6	(6)	
			◎	教育実習Ⅲ(現場実習B)	1			2	(2)	
			—	—	—					
	教職実践演習	2	◎	教職実践演習(中・高)	2				2	
合 計		27								

④大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項			授業科目	単位数	1 年次 前 後	2 年次 前 後	3 年次 前 後	4 年次 前 後	
第六 欄	大学が独自に設定する科目	4	◎	介護等体験の基礎	2		2 (2)			
				生涯学習概論	2			2		

注意事項：P.35 の「5. 基礎資格及び履修」に注意して単位を修得すること。

配当年次、開講期については変更する場合があるので、大学ポータルで必ず確認すること。

生命科学部
健康科学科

30 生 (2024 年 4 月入学)	取得可能免許	高等学校教諭 一種	保 健
------------------------	--------	-----------	-----

①第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
			授業科目	単位数	前 後	前 後	前 後	前 後	
日本国憲法	2	◎	日本国憲法	2	2 (2)				
体 育	2	◎	保健体育概論	2	(2) 2				
		◎	保健体育実技Ⅰ	1	2				
		◎	保健体育実技Ⅱ	1	2				
外国語コミュニケーション	2	◎	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
情報機器の操作	2	◎	情報リテラシー	2	2				卒業要件の必修科目

②教科及び教科の指導法に関する科目

※免許法施行規則に定める科目区分ごとの内容を包括する科目

免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目			授業時間数				備 考
科目区分		各科目に含める ことが必要な事項	授業科目			包括 科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
								前 後	前 後	前 後	前 後		
第 二 欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	1	◎	生理学	※	2	30				
					◎	機能的解剖学		2	30				
					◎	微生物学		2	30				
					◎	栄養学概論	※	2		30			
						食品栄養学		2	30				
					◎	運動生理学		2		30			
						スポーツ栄養学		2		30			
			衛生学・公衆衛生学	1		健康管理概論		2	30				
					◎	衛生学・公衆衛生学	※	2			30		
						食品衛生学		2		30			
			学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1		保健医療総論		2	30				
						環境保健科学		2		30			
					◎	学校保健	※	2		30			
						精神医学		2		60			
						メンタルヘルス		2	30				
					◎	スポーツ医学Ⅰ		2		30			
						救急医学概論Ⅰ		2	60				
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	0		救急医学概論Ⅱ		2	60				
					◎	一般救急救命	※	2		30			
					—	—		—					
			各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	◎	保健科教育法Ⅰ		2		30			必修以外の保健科教育法についても履修する事が望ましい。
					◎	保健科教育法Ⅱ		2		30			
						保健科教育法Ⅲ		2			30		
	保健科教育法Ⅳ				2			30					
合 計				24									

☆教科に関する専門的事項の必修科目以外から 6 単位を選択必修科目とする。

③教育の基礎的理解に関する科目等

教職課程

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項			授業科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
						前 後	前 後	前 後	前 後	
第 三 欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◎	教育学原論	2	2				
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	◎	教職論	2		2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	◎	教育行政学	2		2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	◎	教育心理学	2	2				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	◎	特別支援教育	1		1			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	◎	教育課程論	2		2			
第 四 欄	道徳総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導・教育相談等に関する科目	総合的な探求の時間の指導法	◎	総合的な学習の時間の指導法	2			2		情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む
		特別活動の指導法	◎	特別活動の指導法	2		2			
		教育の方法及び技術	◎	教育の方法と技術 (情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む)	2	(2) 2				
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	—	(教育の方法と技術)	—					進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		生徒指導の理論及び方法	◎	生徒・進路指導論	2		2			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	◎	教育相談の理論と方法	2	2				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	—	(生徒・進路指導論)	—					
第 五 欄	教育実践に関する科目	3	◎	教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1			2		
			◎	教育実習Ⅱ(現場実習A)	3			6	(6)	
				教育実習Ⅲ(現場実習B)	1			2	(2)	
		学校体験活動	—	—	—					
		教職実践演習	2	◎	教職実践演習(中・高)	2				2
合 計		23								

④大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
				高校	高校	授業科目	単位数	前 後	前 後	
第六欄	大学が独自に設定する科目	12		介護等体験の基礎	2		2 (2)			
				生涯学習概論	2			2		
				道徳の理論と指導法	2			2		

注意事項：P.35 の「5. 基礎資格及び履修」に注意して単位を修得すること。

配当年次、開講期については変更する場合があるので、大学ポータルで必ず確認すること。

生命科学部
健康科学科

30 生 (2024 年 4 月入学)	取得可能免許	中学校教諭 一種	保健体育
		高等学校教諭 一種	保健体育

①第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
			授業科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
					前 後	前 後	前 後	前 後	
日本国憲法	2	◎	日本国憲法	2	2 (2)				
体 育	2	◎	保健体育概論	2	(2) 2				
		◎	保健体育実技Ⅰ	1	2				
		◎	保健体育実技Ⅱ	1	2				
外国語コミュニケーション	2	◎	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
情報機器の操作	2	◎	情報リテラシー	2	2				卒業要件の必修科目

②教科及び教科の指導法に関する科目

※免許法施行規則に定める科目区分ごとの内容を包括する科目

免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目			授業時間数				備 考
科目区分		各科目に含める ことが必要な事項				授業科目		包括 科目	単位数	1 年次	2 年次	3 年次	
				前 後	前 後					前 後	前 後		
第 二 欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科	体育実技	1	1		スポーツトレーニング実習		2	60			
						◎◎	スポーツ実習Ⅰ(陸上)	※	2			60	
						◎◎	スポーツ実習Ⅱ(水泳)		2	60			
						◎◎	スポーツ実習Ⅲ(球技)	※	2		60		
						◎◎	スポーツ実習Ⅳ(武道)		2		60		
							スポーツ実習Ⅴ(テニス)		2			60	
						◎◎	スポーツ実習Ⅵ(体操)		2			60	
						◎◎	エアロビエクササイズ実習		2			60	
							野外スポーツ実習		2			60	
		関する	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	1	1	◎◎	スポーツ心理学	※	2		30		
						◎◎	スポーツ社会学	※	2		30		
						◎◎	スポーツマネジメント	※	2			30	
							バイオメカニクス		2		30		
							バイオメカニクス演習		2			30	
		専門	生理学(運動生理学を含む。)	1	1	◎◎	体育原理	※	2		30		
						◎◎	生理学	※	2	30			
			運動生理学			◎◎	運動生理学	※	2		30		
							健康管理概論		2	30			
		的	衛生学・公衆衛生学	1	1	◎◎	衛生学・公衆衛生学	※	2			30	
							食品衛生学		2		30		
		事 項	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1	1		保健医療総論		2	30			
							環境保健科学		2		30		
						◎◎	学校保健	※	2		30		
							精神医学		2		60		
							メンタルヘルス		2	30			
						◎◎	スポーツ医学Ⅰ		2		30		
							救急医学概論Ⅰ		2	60			
							救急医学概論Ⅱ		2	60			
						◎◎	一般救急救命	※	2		30		
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		0	0	—	—						
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	◎◎	保健体育科教育法Ⅰ		2		30			必修以外の保健体育科教育法についても履修するが望ましい。
					◎◎	保健体育科教育法Ⅱ		2		30			
					◎	保健体育科教育法Ⅲ		2			30		
					◎	保健体育科教育法Ⅳ		2			30		
合 計		28	24										

③教育の基礎的理解に関する科目等

教職課程

免許法施行規則に定める科目区分等			最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考					
							1 年次	2 年次	3 年次	4 年次						
					科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	中学	高校	中学	高校		授業科目	単位数	前	後	前
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	◎	◎	教育学原論	2	2							
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			◎	◎	教職論	2			2					
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			◎	◎	教育行政学	2			2					
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			◎	◎	教育心理学	2	2							
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			◎	◎	特別支援教育	1				1				
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			◎	◎	教育課程論	2			2					
第四欄	道徳総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	◎	／	道徳の理論と指導法	2				2				
		総合的な学習の時間の指導法			◎	◎	総合的な学習の時間の指導法	2				2				
		特別活動の指導法			◎	◎	特別活動の指導法	2			2					
		教育の方法及び技術			◎	◎	教育の方法と技術 (情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む)	2	(2)	2					情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			—	—	(教育の方法と技術)	—								
		生徒指導の理論及び方法			◎	◎	生徒・進路指導論	2			2					進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			◎	◎	教育相談の理論と方法	2			2					
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			—	—	(生徒・進路指導論)	—								
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	◎	◎	教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1				2				免許状の種類によらず、Ⅰ～Ⅲすべてを修得することが望ましい。
		◎			◎	教育実習Ⅱ(現場実習A)	3				6	(6)				
		◎				教育実習Ⅲ(現場実習B)	1				2	(2)				
		学校体験活動	—	—	—	—										
		教職実践演習	2	2	◎	◎	教職実践演習(中・高)	2					2			
合 計			27	23												

④大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
				授業科目	単位数	前 後	前 後	前 後	前 後	
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	◎ 介護等体験の基礎	2		2	(2)		
				生涯学習概論	2			2		
				道徳の理論と指導法	2			2		

注意事項：P.35 の「5. 基礎資格及び履修」に注意して単位を修得すること。

配当年次、開講期については変更する場合があるので、大学ポータルで必ず確認すること。

生命科学部
動物生命科学科

30 生 (2024 年 4 月入学)	取得可能免許	中学校教諭 一種	理 科
		高等学校教諭 一種	理 科

①第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備	考
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
			授業科目	単位数	前 後	前 後	前 後	前 後		
日本国憲法	2	◎	日本国憲法	2	2 (2)					
体 育	2	◎	保健体育概論	2	(2) 2					
		◎	保健体育実技Ⅰ	1	2					
		◎	保健体育実技Ⅱ	1	2					
外国語コミュニケーション	2	◎	英語コミュニケーションⅠ	2	2					
情報機器の操作	2	◎	情報リテラシー	2	2					卒業要件の必修科目

②教科及び教科の指導法に関する科目

※免許法施行規則に定める科目区分ごとの内容を包括する科目

免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数		教免 ◎必修	本学における開講科目			授業時間数				備 考						
										1 年次	2 年次	3 年次	4 年次							
				科目区分	各科目に含める ことが必要な事項		中学	高校	中学	高校	授業科目	包括 科目	単位数		前	後	前	後	前	後
第 二 欄	教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 する 科 目	教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	物理学	1	1	◎ ◎	基礎物理学Ⅰ	※	2	30										
			◎ ◎	基礎物理学Ⅱ	※	2	30													
			化 学	1	1	◎ ◎	基礎化学Ⅰ	※	2	30										
						◎ ◎	基礎化学Ⅱ	※	2	30										
							無機化学Ⅰ		2	30										
							無機化学Ⅱ		2	30										
							天然物化学		2		30									
							動物感染症学Ⅰ		2	30										
			生 物 学	1	1		動物感染症学Ⅱ		2		30									
							実験動物学		2			30								
							バイオサイエンス		2	30										
						◎ ◎	基礎生物学Ⅰ	※	2	30										
						◎ ◎	基礎生物学Ⅱ	※	2	30										
							基礎分子生物学		2		30									
							動物進化論		2		30									
							動物形態機能学Ⅰ		2	30										
							動物形態機能学Ⅱ		2	30										
							動物形態機能学Ⅲ		2	30										
						◎ ◎	動物繁殖学		2	30										
						◎ ◎	適正飼養指導論		2	30										
			地 学	1	1	◎ ◎	基礎地学Ⅰ	※	2	30										
						◎ ◎	基礎地学Ⅱ	※	2	30										
			物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	1	1	◎ ◎	基礎物理学実験	※	2	60										
◎ ◎	基礎化学実験	※				2		60												
◎ ◎	基礎生物学実験	※				2		60												
◎ ◎	基礎地学実験	※				2		60												
教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目		0	0	◎ ◎	教科内容構成学(理科)		2					30								
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活 用を含む。)	8	4	◎ ◎	理科教育法Ⅰ		2		30									必修以外の理科教育 法についても履修す る事が望ましい。			
			◎ ◎	理科教育法Ⅱ		2		30												
			◎	理科教育法Ⅲ		2			30											
			◎	理科教育法Ⅳ		2				30										
合 計		28	24																	

③教育の基礎的理解に関する科目等

教職課程

免許法施行規則に定める科目区分等			最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考					
							1 年次	2 年次	3 年次	4 年次						
					科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	中学	高校	中学	高校		授業科目	単位数	前	後	前
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	◎	◎	教育学原論	2	2							
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			◎	◎	教職論	2			2					
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			◎	◎	教育行政学	2			2					
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			◎	◎	教育心理学	2	2							
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			◎	◎	特別支援教育	1				1				
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			◎	◎	教育課程論	2			2					
第四欄	道徳総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	◎	／	道徳の理論と指導法	2				2				
		総合的な学習の時間の指導法			◎	◎	総合的な学習の時間の指導法	2				2				
		特別活動の指導法			◎	◎	特別活動の指導法	2			2					
		教育の方法及び技術			◎	◎	教育の方法と技術 (情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む)	2	(2)	2					情報通信技術を活用した教育の理論と方法を含む	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			—	—	(教育の方法と技術)	—								
		生徒指導の理論及び方法			◎	◎	生徒・進路指導論	2			2					進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			◎	◎	教育相談の理論と方法	2			2					
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			—	—	(生徒・進路指導論)	—								
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	◎	◎	教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1				2				免許状の種類によらず、Ⅰ～Ⅲすべてを修得することが望ましい。
		◎			◎	教育実習Ⅱ(現場実習A)	3				6	(6)				
		◎				教育実習Ⅲ(現場実習B)	1				2	(2)				
		学校体験活動	—	—	—	—										
		教職実践演習	2	2	◎	◎	教職実践演習(中・高)	2					2			
合 計			27	23												

④大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		最低 修得 単位数	教免 ◎必修	本学における開講科目		毎週授業時間数				備 考
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
				授業科目	単位数	前 後	前 後	前 後	前 後	
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	◎ 介護等体験の基礎	2		2	(2)		
				生涯学習概論	2			2		
				道徳の理論と指導法	2			2		

注意事項：P.35 の「5. 基礎資格及び履修」に注意して単位を修得すること。

配当年次、開講期については変更する場合があるので、大学ポータルで必ず確認すること。